

○計画期間:令和5年4月～令和10年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和6年度終了時点(令和7年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、平成30年度から5年間、内閣総理大臣の認定を受けた「八王子市中心市街地活性化基本計画（第1期）」に基づき、ハード・ソフト両面において事業を推進し、一定の成果を上げてきた。その後、令和5年度から第2期計画の認定を受け、本市が目指す中心市街地の都市像「多様な価値観や幅広い世代がつながり“にぎわい”が生まれるまち」の実現に向け設定した3つの基本方針に基づき、第1期計画での成果を最大限に活用した施策展開を行っている。令和6年度は、計画期間の2年目であった。

令和6年度は、江戸時代から絹織物の集散地として栄えた「桑都」八王子の魅力を国内外の観光客に発信しようと八王子桑都千景推進協議会が企画し、東京都の「江戸情緒あふれる景観創出事業」に応募し採択された。これにより、令和7年2月22日から3月14日の3週間にわたり「八王子桑都千景」のイベントが行われ、商業文化の象徴である「のれん」で街を装飾した。さらに、多摩地区で唯一の花街があったエリアには、商店等の協力を得て行燈を設置したライトアップ事業を展開した。このほか、伝統芸能の公演などを通じて甲州街道の宿場町として栄えた伝統を発信し、観光誘客により都市活性化につなげた。

目標指標のひとつでもある本市中心市街地内23地点における「歩行者通行量」については、前年度比1%の微減と大きな変動は見られなかった。賑わいの創出に向けた様々な取組が、休日の歩行者通行量の増加に表れている一方で、平日については、その効果がみられないことが課題となっている。

一方、目標指標のひとつとなっている「地域交流活動施設来場者数」の対象となっている各施設については、各施設の認知度が向上し、令和6年度の施設来場者数も本計画での目標値を大きく上回る結果となった。

同じく、目標指標である「空き店舗数」については、前年度から9件減少し、目標値を達成した。空き店舗改修・リノベーション事業の活用も見込まれることから、引き続き着実に主要事業を実施することにより、さらなる空き店舗数の減少が期待できる。

今後は、「官・民・地域」が一体となって、本市が有する地域資源を活用し、第1期計画で推進した事業を最大限に活用しながら、「八王子桑都千景」をはじめとする令和6年度の事業の成果を継承し、着実に根付かせていくことで、さらなる中心市街地への人流促進と地域経済の活性化を図る。

【**中心市街地の状況に関する基礎的なデータ**】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度 12 月 31 日)

(中心市街地区域)	令和4年度 (基準年値)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
人口	34,183	34,401	34,489			
人口増減数	951	218	88			
基準年値からの増減率	-	0.64%	0.90%			

(2) 地価

(単位：円/m²)

住所表示	交通施設からの距離		令和4年度 (基準年値)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
旭町 2-6	八王子駅前 広場接面	地価	2,600,000	2,710,000	2,840,000			
		基準年度からの増減率	-	4.23%	9.23%			
中町 3-14	八王子駅から 360m	地価	556,000	583,000	620,000			
		基準年度からの増減率	-	4.86%	11.51%			
明神町 4-2- 18	京王八王子駅 から220m	地価	406,000	425,000	449,000			
		基準年度からの増減率	-	4.68%	10.59%			
三崎町 5-10	八王子駅から 440m	地価	404,000	420,000	444,000			
		基準年度からの増減率	-	3.96%	9.90%			
横山町 9-13	八王子駅から 580m	地価	436,000	454,000	480,000			
		基準年度からの増減率	-	4.13%	10.09%			
子安町 1-32- 16	八王子駅から 520m	地価	298,000	315,000	335,000			
		基準年度からの増減率	-	5.70%	12.42%			
東町 7-4	八王子駅から 200m	地価	1,270,000	1,320,000	1,390,000			
		基準年度からの増減率	-	3.94%	9.45%			

2. 令和6年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和6年度は、第2期計画の主要事業のひとつである「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」に係る事業として、東京都の江戸情緒あふれる景観創出事業「八王子桑都千景」を実施、甲州街道を中心としたのれん設置や八王子花街エリアの行燈によるライトアップ、中心市街地エリアを彩るのれん風フラッグの掲出により、中心市街地を起点としたにぎわい創出を推し進めることができた。

計画期間の3年目となる令和7年度は、「八王子桑都千景」をはじめとする各事業成果の効果的な利活用の考案、既存のイベント等との親和性ならびに中活事業に関わる新規事業と連携を図ることで、中心市街地居住者及び来街者が安心して心豊かに過ごし、楽しめるまちの実現に向けて地域一丸となって取り組んでいきたい。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況 ※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の 見通し	今回の 見通し
文化・歴史をはじめとする 様々なまちの 魅力を感じ、 回遊できるま ちなみ空間の 創出	歩行者通行量 (平休日平均) (人/日)	117,769 人/日 (H30～R3 の 平均)	130,500 人/日 (R9)	115,873 人/日 (R6)	C	A	A
	【参考指標】 てくポ利用者数 (人/年)	300 人/年 (R4)	2,170 人/年 (R9)	3,622 人/年 (R6)	A	A	A
市民や来街 者を惹きつけ る、個性あふ れる商業空 間の創出	空き店舗数 (店舗)	86 店舗 (R3)	65 店舗 (R9)	63 店舗 (R6)	A	A	A
地域での交 流を通じて共 に安心して過 ごせる交流空 間の形成	地域交流活動 施設来場者数 (人/年)	34,601 人/年 (R3)	66,000 人/年 (R9)	88,340 人/年 (R6)	A	A	A

< 基準値からの改善状況 (※1) >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A : 目標達成が見込まれる

B : 目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C : 目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「< 基準値からの改善状況 (※1) >」、< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例： a、b、c)

2. 目標達成見通しの理由

目標指標「歩行者通行量」(平休日平均)については、平日の歩行量の減少により、前年度から微減という結果にはなったものの、休日は増加しており、主要事業の効果が休日の来街者の増加に一定程度寄与しているといえる。基準値に歩行者通行量が及ばない要因としては、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行した後も、消費行動やライフスタイルに関わる様々な変化が歩行者通行量の減少に影響を与えていると考えられる。しかし、後述する目標指標「空き店舗数」の減少傾向や、今後中心市街地周辺(エリア外)に誕生する「八王子駅南口集いの拠点」や次世代型複合商業施設との賑わいの相乗効果が見込まれることを踏まえると、今後中心市街地への来訪者の増加は十分期待でき、令和9年度に向けて主要事業の取組を着実に進めていくことで、目標達成は可能であると考ええる。

参考指標である「てくポ利用者数」については、令和5年度に引き続き、令和6年度も

目標値を達成している。「てくポ」利用登録者数とまちなか休憩所八王子宿来場者数のいずれも増加傾向にあることから、令和9年度においても目標達成は十分に可能であると考える。

目標指標「空き店舗数」については、目標値を達成する結果となった。長期的に空き状況が続く店舗については、引き続き空き店舗改修・リノベーション事業の活用を促していく。また、空き店舗数の減少に向けては、空き店舗への入居を促進するだけでなく、空き店舗化を防ぐ取組も重要となるため、目標指標「歩行者通行量」の目標達成に向けた取組と併せて、引き続き主要事業の取組を着実に進めていく。

目標指標「地域交流活動施設来場者数」についても、令和5年度に引き続き、令和6年度も目標値を達成している。施設でのイベント開催、近隣で開催されるイベントとの連携等が各施設の来場者増加に寄与している実績があるため、今後も取組を継続することにより、更に来場者数は増加することが期待できる。

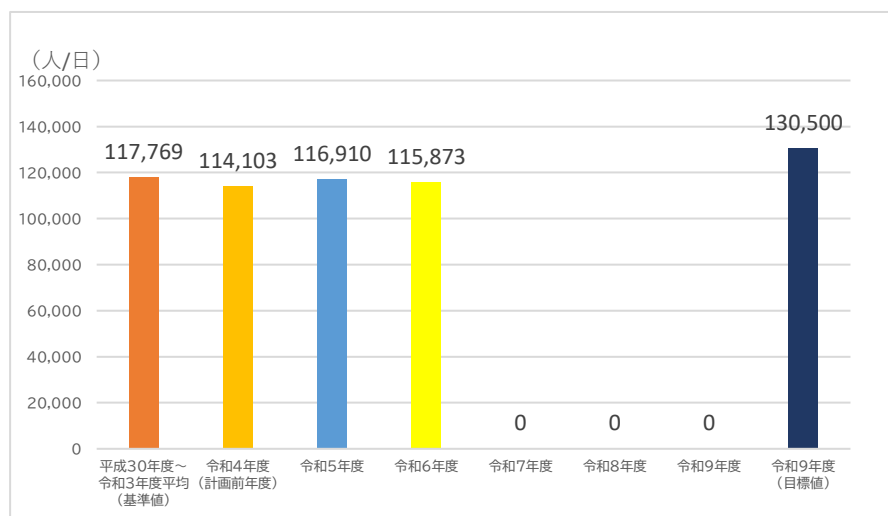
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

なし

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「歩行者通行量（平休日平均）」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 84～P. 88 参照

●調査結果と分析



年	(人/日)
H30～R3 平均	117,769 (基準年値)
R4	114,103
R5	116,910
R6	115,873
R7	
R8	
R9	
R9	130,500 (目標値)

※調査方法：中心市街地内 23 地点における歩行者数を計測

(11 月第4日曜日及びその2日後の火曜日の9時～22時)

※調査月：令和6年11月

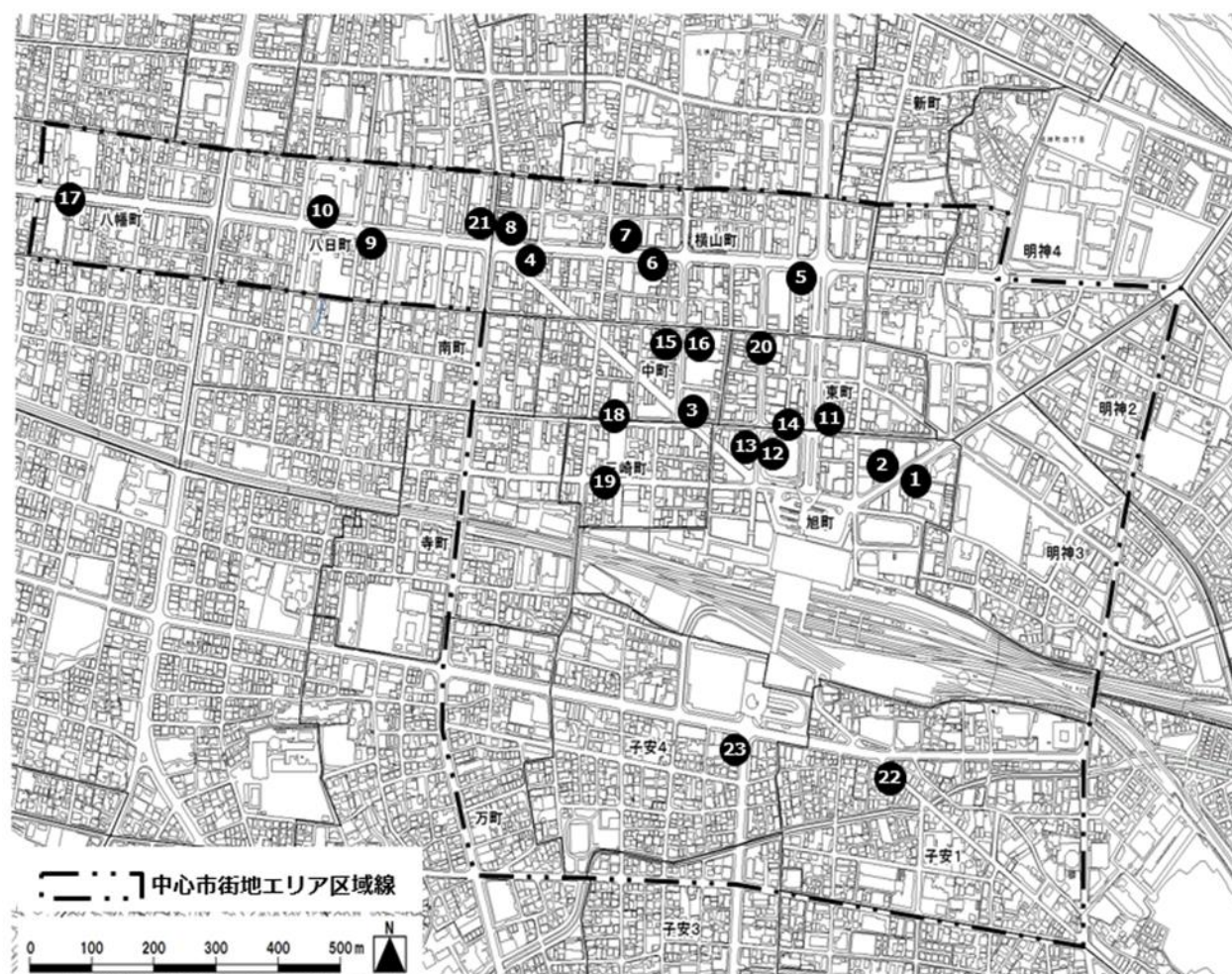
※調査主体：八王子市

※調査対象：中心市街地内 23 地点における歩行者通行量

(①東放射線アイロード①、②東放射線アイロード②、③ドン・キホーテ前、④横山町公園、⑤八王子駅入口交差点、⑥甲州街道①、⑦甲州街道②、⑧八日町交差点、⑨甲州街道③、⑩甲州街道④、⑪桑並木通り、⑫八王子スクエアビル西①、⑬八王子スクエアビル西②、⑭八王子スクエアビル北、⑮パーク壱番街通り①、⑯パーク壱番街通り②、⑰甲州街道⑤、⑱富士見通り、⑲みさき通り、⑳ジョイ五番街通り、㉑みずき通り、

②② 野猿街道、②③とちの木通り)

※調査地点図：下図のとおり



※調査地点図：下図のとおり

		平成30年度～ 令和3年度平均	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		(基準値)	(計画前年度)	(1年目)	(2年目)	(3年目)	(4年目)	(5年目)	(目標値)
歩行者通行量		117,769	114,103	116,910	115,873	0	0	0	130,500
※平日平均 ＝(休日23地点合計値×2＋平日23地点合計値×5)÷7 ※平均結果は四捨五入									
休日	合計	120,075	120,182	117,859	124,909	0	0	0	
	No.1 東放射線アイロード①	17,463	16,503	20,267	16,718				
	No.2 東放射線アイロード②	3,864	3,975	3,608	4,135				
	No.3 ドン・キホーテ前	21,021	22,635	23,282	23,935				
	No.4 横山町公園	9,635	8,927	7,836	9,476				
	No.5 八王子駅入口交差点	3,280	4,107	3,244	4,365				
	No.6 甲州街道①	2,113	2,123	2,068	2,227				
	No.7 甲州街道②	1,537	2,035	1,541	1,414				
	No.8 八日町交差点	1,928	2,304	1,963	2,314				
	No.9 甲州街道③	2,610	2,510	2,441	2,603				
	No.10 甲州街道④	3,045	2,362	2,429	2,397				
	No.11 桑並木通り	6,814	6,882	6,099	6,631				
	No.12 八王子スクエアビル西①	8,209	8,167	7,462	8,537				
	No.13 八王子スクエアビル西②	3,002	3,742	3,148	3,760				
	No.14 八王子スクエアビル北	9,952	8,517	8,062	9,348				
	No.15 パーク壱番街通り①	2,472	2,697	2,189	2,849				
	No.16 パーク壱番街通り②	4,494	3,180	3,112	3,596				
	No.17 甲州街道⑤	1,234	1,266	1,418	1,435				
	No.18 富士見通り	4,796	5,383	5,168	5,359				
	No.19 みさき通り	2,553	2,801	2,726	3,026				
	No.20 ジョイ五番街通り	3,078	3,317	3,266	3,657				
	No.21 みずき通り	1,603	1,518	1,228	1,462				
	No.22 野猿街道	3,216	3,246	3,315	3,512				
	No.23 とちの木通り	2,161	1,985	1,987	2,153				
平日	合計	116,846	111,671	116,530	112,259	0	0	0	
	No.1 東放射線アイロード①	20,017	19,241	16,883	19,133				
	No.2 東放射線アイロード②	4,932	4,685	4,791	4,676				
	No.3 ドン・キホーテ前	17,323	17,325	18,355	16,404				
	No.4 横山町公園	7,940	7,496	8,324	7,704				
	No.5 八王子駅入口交差点	3,454	4,317	4,052	4,103				
	No.6 甲州街道①	2,048	1,901	2,281	2,233				
	No.7 甲州街道②	1,848	1,891	1,852	1,840				
	No.8 八日町交差点	2,613	2,838	2,942	2,790				
	No.9 甲州街道③	2,532	2,172	2,647	2,336				
	No.10 甲州街道④	2,725	2,451	2,766	2,439				
	No.11 桑並木通り	6,088	5,722	6,579	6,312				
	No.12 八王子スクエアビル西①	6,895	6,708	7,405	6,762				
	No.13 八王子スクエアビル西②	3,597	3,592	3,759	3,371				
	No.14 八王子スクエアビル北	9,175	7,897	7,860	7,222				
	No.15 パーク壱番街通り①	2,207	2,086	2,073	2,146				
	No.16 パーク壱番街通り②	4,097	2,775	3,446	3,021				
	No.17 甲州街道⑤	1,404	1,119	1,728	1,167				
	No.18 富士見通り	5,078	4,769	5,127	5,088				
	No.19 みさき通り	2,871	2,654	2,871	3,103				
	No.20 ジョイ五番街通り	2,937	3,210	3,383	3,261				
	No.21 みずき通り	1,414	1,251	1,470	1,460				
	No.22 野猿街道	3,087	3,034	3,102	3,144				
	No.23 とちの木通り	2,568	2,537	2,834	2,544				

〈分析内容〉

令和6年度の歩行者通行量は、前年度と比較して、微減という結果となった。休日の調査では、23地点中20地点において歩行者通行量が増加しており、全調査地点の合計値としては、前年度から7,050人増加している。一方で、平日の調査では、23地点中19地点において減少しており、前年度から4,271人減少している。休日の増加については、イベントの開催やまちなかに誘引する仕掛けづくりなど、後述する主要事業の効果が表出したものと考えられるが、平日については、主要事業の取組の効果が数値として表れなかった。

平日の歩行者通行量の減少については、調査地点のほとんどにおいて減少していることから、特定の要因によるものとは考えにくい。平日の歩行者は、休日と比べて「居住者」「勤務者」「通学者」といった地域住民が多いことを踏まえると、デジタル化の加速、円安、物価高などによる消費者行動の変化や、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も一定程度残る在宅勤務やオンライン授業など、ライフスタイルに関わる様々な要因が影響を与えていると考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 伝統文化伝承・未来創造プロジェクト運営事業

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	本市の歴史・文化の発信・伝承や地域に根ざす老舗の創出を図るとともに、アフターコンベンションに資する複合施設（桑都テラス）を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和6年度の施設来場者数は243,781人であった。施設内8区画のうち2区画に新たな店舗が入居し、新規来場者の増加に寄与している。 また、年間約70件のイベントが開催され、特に以下に記載する「八王子桑都千景」では、周辺地域と連携して、来街者をまちなかに誘引する仕掛けづくりを行うとともに、八王子の伝統文化の魅力を伝えるイベントを開催した。
事業の今後について	引き続き施設公式ホームページや広報誌、タブロイド紙などで周知を実施する。

②. 八王子駅南口集いの拠点連携事業（八王子市、民間事業者）

事業実施期間	令和5年度～【実施中】
事業概要	令和8年度供用開始予定である「八王子駅南口集いの拠点」の来場者の中心市街地への誘導を促進するため、同拠点と連動したイベントの開催や街路へのフラッグの掲示等を実施する。

国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置無し
事業目標値・最新 値及び進捗状況	令和 6 年度は、JR八王子駅南口周辺の町会・商店会等とワークシ ョップ（計 4 回）を実施し、とちの木通りの賑わい空間創出に向け て検討を行った。
事業の今後につ いて	ワークショップにおいて集まった意見を基に、休憩スペースとして のベンチ設置や、賑わい創出に向けたイベントの実施等に向けて調 整を行っていく。

③. MICE 等来街者おもてなし促進事業

（八王子市、公益社団法人八王子観光コンベンション協会）

事業実施期間	令和 5 年度～【実施中】
事業概要	東京たま未来メッセ等における MICE 及び各種イベント、会議への 来街者をまちなかに誘引し、中心市街地内での消費を喚起するた めに、プロモーション活動や歓迎フラッグの掲示等を行う。
国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新 値及び進捗状況	令和 6 年度の中心市街地における MICE 開催件数は 16 件であ った。これらの東京たま未来メッセ等における MICE やその他各種イ ベント、会議への来街者に対して、観光パンフレット等を配布し、 まちなかに誘引することに寄与している。また、以下に記載する「八 王子桑都千景」において、歴史ある老舗の店先に設置したオリジナル のれん、JR八王子駅周辺や西放射線ユーロード、甲州街道沿道 に設置したのれんを模したフラッグなどを、事業完了後も引き続き 設置し続けており、MICE 等の来街者をまちなかに誘引し、江戸の 風情を感じながらまちあるきを楽しむことに寄与している。
事業の今後につ いて	より多くの来街者をまちなかに誘引するため、引き続き観光パンフ レット等を配布するほか、中心市街地の情報を効果的に発信してい く。

④. 空き店舗改修・リノベーション事業（八王子市）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	まちなかの店舗の連続性の確保と出店促進に向け、中心市街地内の 空き店舗を改修又はリノベーションして出店する事業者に対して 補助を行う。 ・補助対象経費：解体工事費、外壁工事費、看板設置工事費、内装 工事費、建具工事費、給排水衛生設備工事費、電気設備工事費、空 調・冷暖房設備工事費、ガス設備工事費、住宅分離工事費 ・補助限度額：50 万円又は実際に要した費用のいずれか少ない額

国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和５年度～令和９年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和６年度は、本事業を活用して新たに７店舗が開業した。また、令和６年度より、営業時間の要件を変更し、正午から午後２時までの時間帯を含むこととした。（これまでは「午前９時から午後５時までの間に１時間以上」としていた。）これにより、昼間から中心市街地に訪れ、買い物や食事を楽しめる店舗を増やすことに寄与した。
事業の今後について	引き続き市公式ホームページやInstagramなどでの周知に力を入れ、活用を促進する。

⑤. 空き店舗マッチング事業（八王子市）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	民間の不動産事業者等と連携し、中心市街地の空き店舗に出店を希望する者に対して、出店希望条件に合った貸店舗の情報を提供し、出店希望者とオーナーとのマッチングを行い、空き店舗解消、新規出店の促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和６年度は、１件の申請があったものの、出店希望者の希望に合致する店舗の情報提供がなかった。
事業の今後について	現在では、希望物件をだれでも簡単にインターネットで調べることが可能である。また、中心市街地の路面空き店舗数は減少傾向にある。そのため、今後申請者数及び希望する物件の情報提供件数は、一定程度に限られることが予想される。 空き店舗解消による歩行者通行量の増加に向けては、特に情報提供ができなかった出店希望者に対して空き店舗改修・リノベーション事業の活用を周知することにより、２つの事業が一体となって引き続き取り組んでいく。

⑥. まちなか休憩所 八王子宿の運営（八王子市）

事業実施期間	令和２年度～【実施中】
事業概要	来街者の安らぎの空間を創出し、中心市街地の回遊性を促進するため、西放射線ユーロードに近接する中町において休憩施設を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置無し
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和６年度の施設来場者数は 52,930 人であった。新たにモバイルバッテリーシェアリングサービスの設置、トイレ診断士によるトイレの清掃方法のレクチャー等、だれでも快適に休憩できる施設づく

	くりを目指して取組を実施した。
事業の今後について	スマホで簡単にアンケートに回答できる QR コードを施設内各所に設置したことにより、老若男女問わず多くの利用者の声を回収することが期待できる。利用者の要望等を把握し、まちあるきの休憩施設として満足度の高い施設となることを目指す。

⑦. まちの駅八王子 CHITOSEYA における地域活性化事業（民間事業者、八王子市）

事業実施期間	令和 4 年度～【実施中】
事業概要	八王子市と運営に係る覚書を締結した民間事業者が主体となり、定期的に様々なコミュニティづくりの場を設け、地域の NPO 法人や商店会・町会、新規創業者、クリエイター、学生、新規住民等の積極的な参画を促し、新たなつながりや価値が創出される拠点として活用して、活発な地域づくりを促進する。 また、施設の飲食・物販機能を活かして、市内の生産者や福祉施設等による商品の PR を行い、共感の創出及び地産地消を推進するとともに、サステナブル地域づくり等に向けた参加機運の醸成を図る。 その他、農業者や地場産業事業者等と連携した体験教室やワークショップの開催、読んだ人が感想を重ねていく寄贈本による「まちライブラリー」の運営、ダンボールコンポストの講習会、再生パソコンやみつろうラップづくりワークショップの開催等、まちなかにいながら農と自然・ものづくりをはじめとする様々な体験及び交流ができる「まちの駅」としての場を創出する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 6 年度の来場者数は 21,410 人であった。 八王子産の野菜や加工食品等の販売、季節に応じた八王子産食材を活用した飲食の提供のほか、施設運営者による自主イベントを約 15 件開催し、さらに他団体が開催する約 5 件のイベントにも参加出店し、施設を取組を周知することに繋がった。通常営業に加えて、親子世代に向けた様々なイベントを開催することにより、コミュニティの活性化に寄与しており、歩行者通行量の増加にも一定程度寄与する結果となった。
事業の今後について	引き続き広報誌や SNS 等において、イベント開催等の情報発信を積極的に行っていく。

⑧. 魅力づくり・にぎわい創出支援事業（八王子市）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の新たな魅力創出による回遊性促進のため、民間事業者の土地を活用した滞留拠点や休憩スペース、統一的な景観といった

	ハード整備に対して支援を行う。 また、中心市街地内で実施される屋外イベントや飲食店を回遊するイベント、オープンカフェなどのうち、公共性・公益性が高く、八王子のシティプロモーションに資するソフト事業に対して支援を行う。 【ハード整備支援】 ・補助対象経費：施設整備費、物品購入費、広告作成費、イベント開催費 ・補助率：4/5 【ソフト事業支援】 ・補助対象経費：広報費、会場設営費、安全衛生対策費、消耗品費、謝金、諸経費 ・補助率：10/10
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和５年度～令和９年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和６年度における本事業の活用実績はハード事業１件、ソフト事業７件の計８件となった。 ハード事業では、計画書掲載の「パーク壱番街通りの再整備」事業により再整備を実施したパーク壱番街通りにおいて、植栽やキャラクターオブジェの設置を行い、魅力ある親しみやすい景観づくりに寄与した。 ソフト事業では、前年度に整備された「えきまえテラス」を活用し肉料理イベントを開催した。一日で約 8,700 食を販売し、さらに市内店舗のクーポン手帳を配布することで、再度中心市街地に訪れるきっかけづくりに寄与した。
事業の今後について	引き続き市公式ホームページや広報誌などでの周知に力を入れ、活用を促進する。

⑦. 八王子桑都千景 ―江戸から令和、そして未来へ。―（八王子桑都千景推進協議会）
【令和６年度追加】

事業実施期間	令和６年度【済】
事業概要	国内外旅行者の誘客に向けて、江戸文化の風情を感じられる街並みを創出し、地域のイメージとして定着させるため、主に、宿場町であった甲州街道沿道や八王子花街における「江戸情緒」をテーマにした景観創出に取り組むもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置無し
事業目標値・最新値及び進捗状況	江戸の風情をまちなかで感じられるのれんを模したフラッグをＪＲ八王子駅周辺や西放射線ユーロード、甲州街道沿道に設置した。また、歴史ある老舗など約 80 店舗の店先にお店の屋号が入ったオ

	リジナルのれんを設置し、夜の風情を感じるため、花街エリアにおいてはぬくもりあるオリジナルの行燈を壁面に設置した。 さらに、日本遺産の推進と連動しながら、江戸文化を楽しむイベントとして、桑都テラスにおいて、17 件のイベントを開催し、イベントへの来場者数は合計 888 人となった。周辺施設においても、桑都の歴史を学ぶパネル展や老舗の商品を集めた物産展を開催し、J:COM ホールで開催されたオープニングイベントでは、参加者が約 11,000 人となった。
事業の今後について	イベント終了後も引き続きフラッグ、のれんを設置しており、来街者をまちなかに誘引し、八王子の伝統文化や老舗の魅力を発信する。

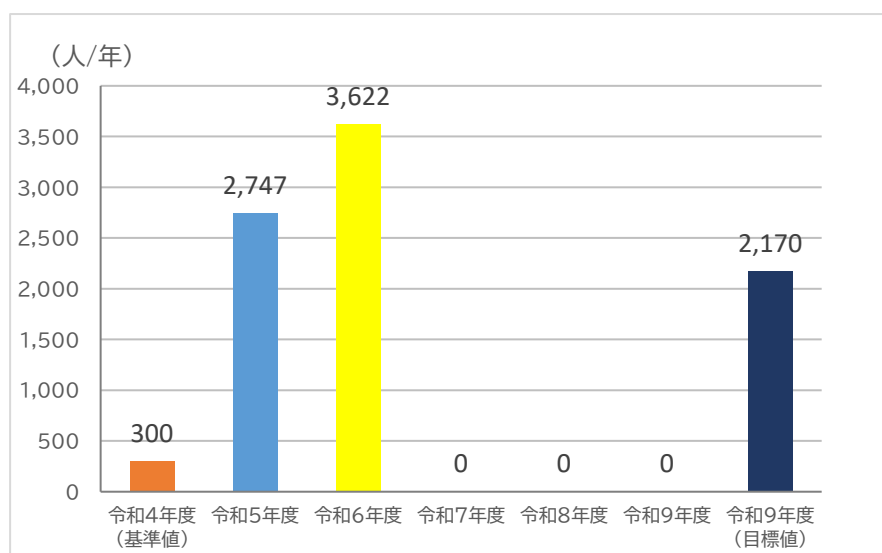
●目標達成の見通し及び今後の対策

前年度と比べると微減とはなったものの、各事業が予定通り進捗しており、その他の目標指標すべてが目標値に向けて順調に推移していることから、令和9年度に向けて歩行者通行量は増加することが期待できる。今後については、各事業を引き続き進めるとともに、中心市街地周辺(エリア外)に誕生する次世代型複合商業施設、「八王子駅南口集いの拠点」への来訪者の増加による相乗効果により、目標達成が可能であると考える。

(2)【参考指標】「てくポ利用者数(人/年)」

※目標設定の考え方認定基本計画 P.97 参照

●調査結果と分析



年	(人/日)
R4	300 (基準年値)
R5	2,747
R6	3,622
R7	
R8	
R9	
R9	2,170 (目標値)

※調査方法： まちなか休憩所八王子宿における「てくポ」のチェックイン件数

※調査月： 令和6年4月～令和7年3月

※調査主体： 八王子市

※調査対象： まちなか休憩所八王子宿における「てくポ」利用者

〈分析内容〉

令和6年度の「てくポ」のチェックイン件数は、前年度と比較して875件増加となった。「てくポ」の利用登録者数は令和7年1月時点で約1万人であり、令和3年10月から着実に登録者数を伸ばしている。また、まちなか休憩所八王子宿についても、令和2年整備当初から来場者数が増加傾向にあることから、相乗効果により、チェックイン件数が増加したと考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. まちなか休憩所 八王子宿の運営（八王子市）

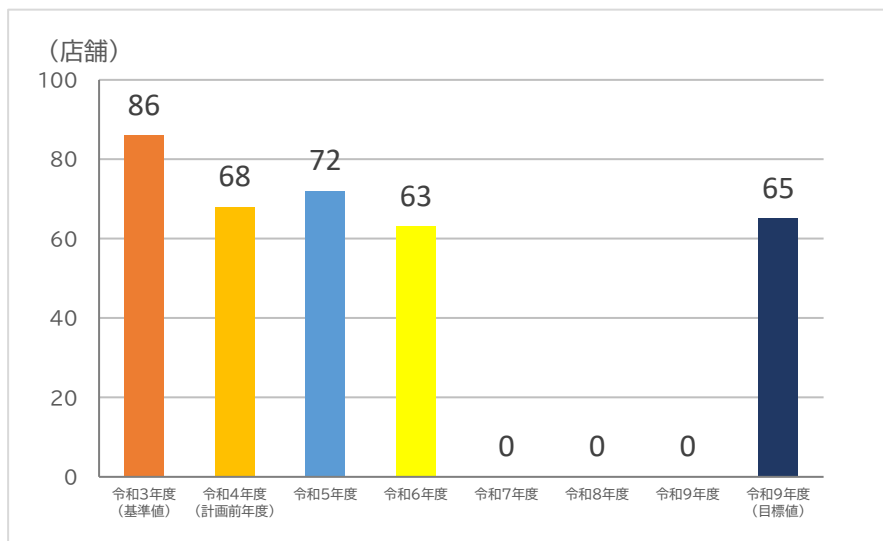
事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	来街者の安らぎの空間を創出し、中心市街地の回遊性を促進するため、西放射線ユーロードに近接する中町において休憩施設を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置無し
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和6年は、新たにモバイルバッテリーシェアリングサービスの設置、トイレ診断士によるトイレの清掃方法のレクチャー等、だれでも快適に休憩できる施設づくりを目指して取組を実施した。
事業の今後について	スマホで簡単にアンケートに回答できるQRコードを施設内各所に設置したことにより、老若男女問わず多くの利用者の声を回収することが期待できる。利用者の要望等を把握し、まちあるきの休憩施設として満足度の高い施設となることを目指す。

●目標達成の見通し及び今後の対策

既に目標値を達成しており、「てくポ」利用登録者数とまちなか休憩所八王子宿来場者数ともに増加傾向にあることから、今後も目標値をさらに上回る数値が期待できる。引き続き、だれもが気軽に立ち寄れる休憩所として、まちなか休憩所八王子宿の管理を行う。

(3)「空き店舗数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 90～P. 91 参照

●調査結果と分析



年	(人/日)
R3	86 (基準年値)
R4	68
R5	72
R6	63
R7	
R8	
R9	
R9	65 (目標値)

※調査方法： 巡回・目視により中心市街地内の空き店舗数を計測

※調査月： 令和6年11月

※調査主体： 八王子市

※調査対象： 中心市街地内において、テナントに入居していないなど、事業活用の可能性があるものの活用されていない路面店舗。

〈分析内容〉

令和6年度の中心市街地内の空き店舗数は、前年度から9店舗減少する結果となった。また、前年度と比較して、入居を理由とする空き店舗解消が9件増加、また、退去による空き店舗化が7件減少した。空き店舗数減少の要因として、中心市街地周辺(エリア外)次世代型複合商業施設、「八王子駅南口集いの拠点」の誕生が予定されていることに伴う、中心市街地への来街者増加に対する期待が、出店意欲の向上に繋がっていると考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗改修・リノベーション事業（八王子市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	まちなかの店舗の連続性の確保と出店促進に向け、中心市街地内の空き店舗を改修又はリノベーションして出店する事業者に対して補助を行う。 - 補助対象経費：解体工事費、外壁工事費、看板設置工事費、内装工事費、建具工事費、給排水衛生設備工事費、電気設備工事費、空調・冷暖房設備工事費、ガス設備工事費、住宅分離工事費 - 補助限度額：50万円又は実際に要した費用のいずれか少ない額
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）

事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：17 店舗※（当事業による空き店舗の解消） 最新値：11 店舗※ 令和6年度（2024 年度）は、本事業を活用して新たに7店舗が開業した。そのうち路面店舗は5 店舗と、中心市街地の路面空き店舗の解消に向け順調に進んでいる。 ※②空き店舗マッチング事業による空き店舗解消と合算した数値
事業の今後について	引き続き市公式ホームページやInstagramなどでの周知に力を入れ、活用を促進する。

②. 空き店舗マッチング事業（八王子市）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	民間の不動産事業者等と連携し、中心市街地の空き店舗に出店を希望する者に対して、出店希望条件に合った貸店舗の情報を提供し、出店希望者とオーナーとのマッチングを行い、空き店舗解消、新規出店の促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：17 店舗※¹（当事業による空き店舗の解消※²） 最新値：11 店舗※¹ 令和6年度は、1 件の申請があったものの、出店希望者の希望に合致する店舗の情報提供がなかった。 ※¹①空き店舗改修・リノベーション事業による 1 階への出店と合算した目標値及び最新値 ※²本事業において、物件の成約は民間事業者間で行われるものであるため、市から申請事業者への情報提供数を空き店舗解消数としている。
事業の今後について	現在では、希望物件をだれでも簡単にインターネットで調べることが可能であり、さらには中心市街地の路面空き店舗数は減少傾向にある。そのため、今後申請者数及び希望する物件の情報提供件数は一定程度に限られることが予想される。空き店舗解消に向けては、特に情報提供ができなかった出店希望者に対して空き店舗改修・リノベーション事業の活用を周知することにより、2 つの事業が一体となって引き続き取り組んでいく。

③. 魅力づくり・にぎわい創出支援事業（八王子市）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の新たな魅力創出による回遊性促進のため、民間事業者の土地を活用した滞留拠点や休憩スペース、統一的な景観といったハード整備に対して支援を行う。 また、中心市街地内で実施される屋外イベントや飲食店を回遊するイベント、オープンカフェなどのうち、公共性・公益性が高く、八

	王子のシティプロモーションに資するソフト事業に対して支援を行う。 【ハード整備支援】 ・補助対象経費：施設整備費、物品購入費、広告作成費、イベント開催費 ・補助率：4/5 【ソフト事業支援】 ・補助対象経費：広報費、会場設営費、安全衛生対策費、消耗品費、謝金、諸経費 ・補助率：10/10
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和５年度～令和９年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和６年度における本事業の活用実績はハード事業１件、ソフト事業７件の計８件となった。 特にソフト事業では、中心市街地を回遊するまちあるきイベントや八王子に店を構える参加者を中心に開催するフードイベント等に対して補助をすることにより、中心市街地の個性ある店舗や歴史的資源の魅力を発信し、中心市街地へのリピーターを獲得することで、結果として空き店舗解消の一助となっている。
事業の今後について	引き続き市公式ホームページや広報誌などでの周知に力を入れ、活用を促進する。

④. 八王子桑都千景 ―江戸から令和、そして未来へ。―（八王子桑都千景推進協議会）
【令和６年度追加】

事業実施期間	令和６年度【済】
事業概要	国内外旅行者の誘客に向けて、江戸文化の風情を感じられる街並みを創出し、地域のイメージとして定着させるため、主に、宿場町であった甲州街道沿道や八王子花街における「江戸情緒」をテーマにした景観創出に取り組むもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置無し
事業目標値・最新値及び進捗状況	江戸の風情をまちなかで感じられるのれんを模したフラッグをＪＲ八王子駅周辺や西放射線ユーロード、甲州街道沿道に設置した。また、歴史ある老舗など約８０店舗の店先にお店の屋号が入ったオリジナルのれんを設置し、夜の風情を感じるため、花街エリアにおいてはぬくもりあるオリジナルの行燈を壁面に設置した。 さらに、日本遺産の推進と連動しながら、江戸文化を楽しむイベントとして、桑都テラスにおいて、１７件のイベントを開催し、合計来場者数は８８８人となった。周辺施設においても、桑都の歴史を学ぶパネル展や老舗の商品を集めた物産展を開催し、Ｊ：ＣＯＭホー

	ルで開催されたオープニングイベントでは、参加者が約 11,000 人となった。
事業の今後について	イベントをとおして中心市街地へのリピーターが増加することで、商店街の歩行者通行量が増加し、空き店舗の解消につなげることを目指す。

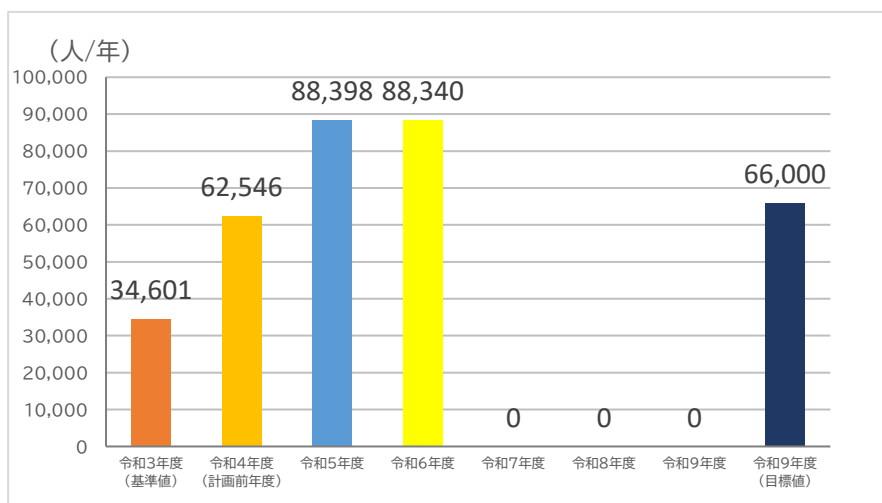
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、既に令和 6 年度時点で目標値を達成していることから、令和 9 年度においても目標達成は可能であると考えます。

今後は、引き続き空き店舗改修・リノベーション事業を中心に、空き店舗の解消に向けて取り組む。また、空き店舗数の減少には、既存店舗の空き店舗化を防ぐことも重要であるため、中心市街地におけるイベントの開催支援や情報発信などの歩行者通行量増加に向けた取組と併せて、着実に主要事業の取組を進める。

（４）「地域交流活動施設来場者数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 93～P. 95 参照

●調査結果と分析



年	(人/日)
R3	34,601 (基準年値)
R4	62,546
R5	88,398
R6	88,340
R7	
R8	
R9	
R9	66,000 (目標値)

※調査方法：施設運営者、施設管理受託者への調査

※調査月：令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月

※調査主体：八王子市

※調査対象：まちなか休憩所 八王子宿、まちの駅八王子 CHITOSEYA、YOTTETTE
まちはぐ

※令和 4 年度の「まちの駅八王子 CHITOSEYA」については、令和 4 年 6 月にオープンしたため、令和 4 年 6 月から令和 5 年 3 月の来場者数

(単位:人/年)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	(基準値)	(計画前年度)	(1年目)	(2年目)	(3年目)	(4年目)	(5年目)	(目標値)
地域交流活動施設来場者数	34,601	62,546	88,398	88,340	0	0	0	66,000
まちなか休憩所 八王子宿	21,347	34,719	52,176	52,930				32,000
まちの駅八王子 CHITOSEYA	13,254	14,327	20,722	21,410				22,000
YOTTETTE		5,000	5,000	5,000				12,000
まちはぐ		8,500	10,500	9,000				

〈分析内容〉

4施設すべてが、令和6年度時点で既に目標値を達成している。(YOTTETTE とまちはぐは各来場者数を合算して目標値を設定している。)前年度に引き続き、近隣地域でのイベント開催や SNS 等を活用した情報発信により、徐々に施設の知名度が向上していることが増加の要因と考えられる。また、まちの駅八王子 CHITOSEYA では、定期的に様々なイベントを開催することにより、イベント参加者から新規来場者を獲得していることも要因と考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. まちなか休憩所 八王子宿の運営 (八王子市)

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	来街者の安らぎの空間を創出し、中心市街地の回遊性を促進するため、西放射線ユーロードに近接する中町において休憩施設を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置無し
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：32,000 人/年（当事業による地域交流活動施設来場者数） 最新値：52,930 人/年 令和6年度は、新たにモバイルバッテリーシェアリングサービスの設置、トイレ診断士によるトイレの清掃方法のレクチャー等、だれでも快適に休憩できる施設づくりを目指して取組を実施した。
事業の今後について	スマホで簡単にアンケートに回答できる QR コードを施設内各所に設置したことにより、老若男女問わず多くの利用者の声を回収することが期待できる。利用者の要望等を把握し、まちあるきの休憩施設として満足度の高い施設となることを目指す。

①. まちの駅八王子 CHITOSEYA における地域活性化事業 (民間事業者、八王子市)

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	八王子市と運営に係る覚書を締結した民間事業者が主体となり、定期的に様々なコミュニティづくりの場を設け、地域の NPO 法人や

	商店会・町会、新規創業者、クリエイター、学生、新規住民等の積極的な参画を促し、新たなつながりや価値が創出される拠点として活用して、活発な地域づくりを促進する。 また、施設の飲食・物販機能を活かして、市内の生産者や福祉施設等による商品の PR を行い、共感の創出及び地産地消を推進するとともに、サステナブル地域づくり等に向けた参加機運の醸成を図る。 その他、農業者や地場産業事業者等と連携した体験教室やワークショップの開催、読んだ人が感想を重ねていく寄贈本による「まちライブラリー」の運営、ダンボールコンポストの講習会、再生パソコンやみつろうラップづくりワークショップの開催等、まちなかにいながら農と自然・ものづくりをはじめとする様々な体験及び交流ができる「まちの駅」としての場を創出する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：22,000 人/年（当事業による地域交流活動施設来場者数） 最新値：21,410 人/年 八王子産の野菜や加工食品等の販売、季節に応じた八王子産食材を活用した飲食の提供のほか、地域の交流の場となる様々なイベントを開催した。 令和 6 年度は、まちの駅八王子 CHITOSEYA が主催となり、約 15 件のイベントを開催した。さらに、他団体が主催する約 5 件のイベントにも参加出店し、施設の取組を周知することに繋げた。また、令和 6 年度より、施設内の棚を八王子の作家に貸し出し、作品を展示できる「レンタルラック」を導入した。そこでは、来店者が購入することも可能であり、発信と交流の場となっている。
事業の今後について	引き続き広報誌や SNS 等において、イベント開催等の情報発信を積極的に行っていく。

③. 伝統文化伝承・未来創造プロジェクト運営事業
（一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市）

事業実施期間	令和 2 年度～【実施中】
事業概要	本市の歴史・文化の発信・伝承や地域に根ざす老舗の創出を図るとともに、アフターコンベンションに資する複合施設（桑都テラス）を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 6 年度の施設来場者数は 243,781 人であった。年間 70 件のイベントが開催され、新規来場者の増加に寄与している。来場者

	の増加に伴い、近隣施設であるまちなか休憩所八王子宿への来場者の増加にも寄与している。
事業の今後について	引き続き公式ホームページや広報誌、タブロイド紙などで周知を実施する。

④. 中心市街地情報サイト「まちなか」の運営（八王子市、八王子商工会議所、民間事業者）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	中心市街地及び市内の店舗情報やイベント情報、観光情報等を発信するポータルサイトを運営するとともに、当該サイトを中心市街地おもてなし通信環境（Wi-Fi）の自動接続先に設定することで、来街者に対して効果的に情報発信を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和6年度は、約300件の中心市街地の魅力を発信する記事を投稿し、閲覧数は約14万PVとなった。また、新たにInstagram版の運用も開始し、それぞれのPULL型、PUSH型のメリットを生かしながら、効果的な情報発信を図った。地域交流活動施設及び周辺地域におけるイベント開催時に情報発信を行うことで、地域交流活動施設来場者数の増加に寄与している。
事業の今後について	引き続き幅広く中心市街地の魅力を発信することで、閲覧数の増加を目指す。

●目標達成の見通し及び今後の対策

調査対象となっている4施設すべてが既に目標値を達成しており、令和9年度においても目標達成が見込まれる。今後は引き続き近隣施設、イベント等での周知活動により知名度向上を図るとともに、イベントの開催、近隣で開催されるイベントとの連携により新規来場者を獲得することで、来場者数のさらなる増加が期待できる。